

# おしらせ



## 歌会始めのお題が 「花」に

…詠進は10月11日まで…

昭和45年歌会始のお題が「花」にきまりました。詠進の要領は次のとおりです

■詠進歌は1人1首で未発表のもの。

(1人で2首以上詠進した場合や新聞雑誌、年賀状などで発表した場合は失格になります)

■用紙は半紙を使用し、毛筆で自分で書いたもの。(代筆は失格になります)

■盲人、身体障害者は点字、代筆でも詠進できるが理由を書いた別紙を添える

■書式は半紙を横に2つ折りにし、右半面にお題と歌、左半面に住所、氏名(本名ふりがな)、生年月日、職業(具体的に)を書く。(主婦、無職、会社員などだけ書いた場合は失格になります)

■詠進の期間は9月1日から10月11日までです。

■あて先は「100 東京都千代田区1番1号 宮内庁」です。(封筒に詠進歌と書き添える)

## 市民文芸第5号を 発行

—市民文芸賞に鈴木重作さんら—

富士市民文芸の第5号が発刊されました。第5号に対する応募作品は全部で750点ありましたが、各部門ごとに次の人が市民文芸賞に選ばれました。

- 小説の部 鈴木重作(森島)
- 随筆の部 太田俊治(大和町)
- 詩の部 堀江雪枝(富士岡本花守)
- 短歌の部 鈴木久信(水の上)
- 俳句の部 沢村啓介(下横割)
- 川柳の部 増田ふさ子(平垣)

### 市民の木

## くすのきの苗木を おわけします

緑の町づくりをしようと、昨年7月に市民の木「くすのき」と市民の花「ばら」を選定しました。この市民の木、市民の花を市内にイッパイにする運動をすすめていきます。本年度は春に「くすのき」を、秋に「ばら」を植樹します。

春期事業は、公共施設、会社、事業場

に「くすのき」の苗木を無料でおわけ、緑の町づくりを行ないます。交付の方法は次のように行ないますので、希望者は申し込みをしてください。

- 樹齢と数量 4年生から5年生のくすのき約1,000本
- 植樹の場所 公共施設、会社、事業場など(植栽と保育管理は管理者にお願いします)
- 申込みの期間 昭和44年5月15日まで
- 申込み先 市役所林政課(吉原事務所)

## 柏原保育園が完成

……収容人員は60人……

元吉原地区に待望の柏原保育園が近く完成します。

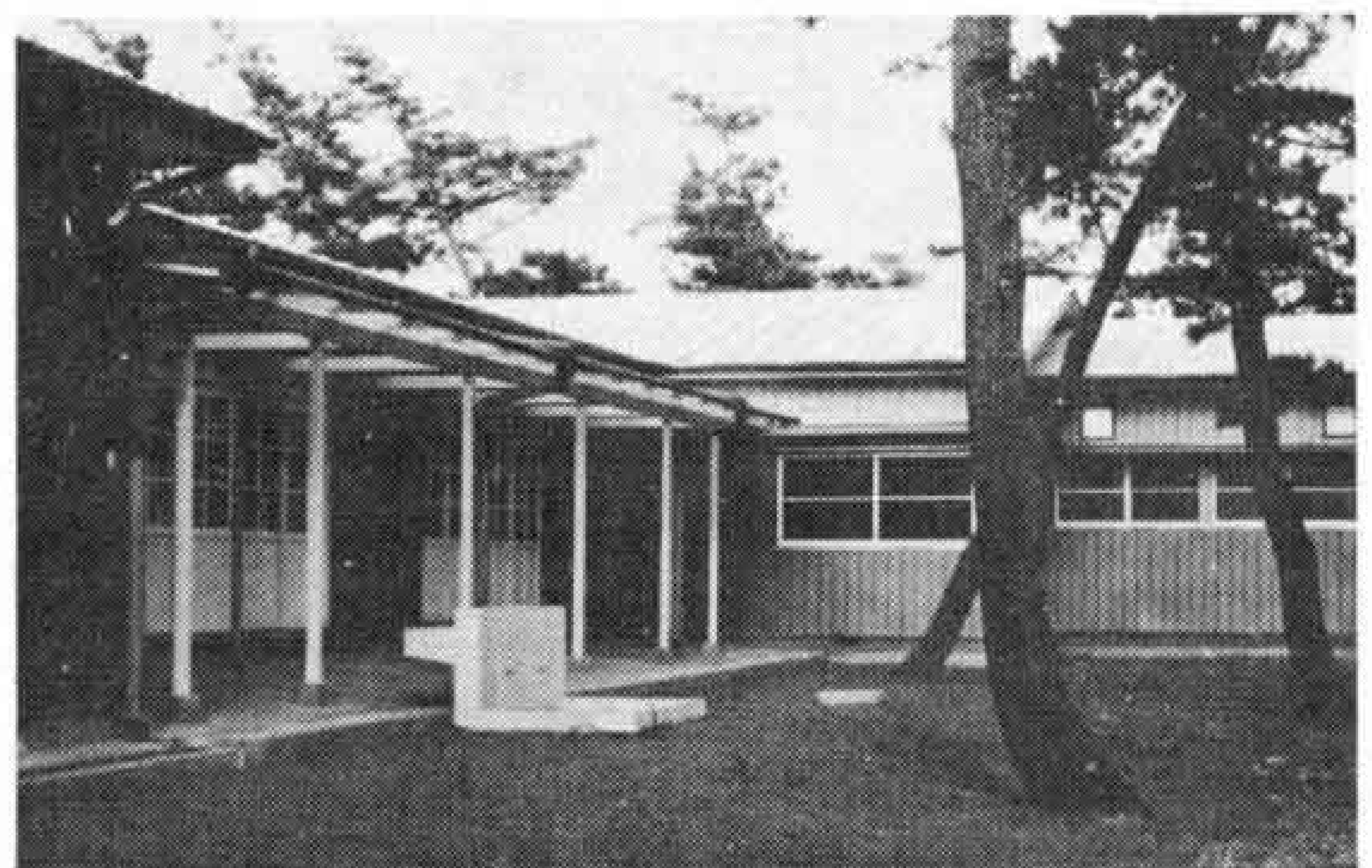
柏原保育園は、敷地面積が1,320平方メートルで、建築面積は345平方メートルです。施設は保育室が4室つくられるほか、給食室、遊戯室事務室がつくられます。収容定員は60人です。工費は1,225万円ですが、このうち320万円は国民年金特別融資を受けました。

昭和43年度にはこのほか児童遊園地5カ所の建設に300万円の国民年金

特別融資を、第2清掃作業所とゴミ収集車購入に2,050万円の厚生年金還元融資を受けました。

なお、柏原保育園の完成によつて市立保育園は15園で、収容人員は1,300人になりました。

<写真は完成した柏原保育園>



## 農事相談室を開設

—毎月第3金曜日  
吉原市民会館で—

農地問題、農業経営などの問題が、農業の近代化にともない多くなっています。このため、市農政課では「農事相談室」を開設しましたので、相談ごとをおもちの人はおでかけください。

- 相談の内容は 経営診断、融資相談、農地問題、青色申告など
- 相談日は 毎月第3金曜日
- 相談の場所は 吉原市民会館(都合により会場が変わることがあります)
- 相談員は 市農政課担当職員

## 日本赤十字社員を 募集しています

赤十字運動が5月1日から全国いつせに行なわれています。

日本赤十字社は、災害などがあれば病人や負傷者の救護活動を行なっています。こうした運動の資金はすべて「日赤社員」によつてまかなわれています。

日本赤十字社では、今年も社員の募集を次のように行なっていますので、活動の主旨をよく理解して、ひとりでも多くの方がこの運動に加入してください。

なお、特別社員は年額300円以上の個人または法人。正社員は年額100円以上の個人です。加入を希望する人は日赤奉仕団(婦人会)のかたが各家庭へうかがいますのでお申し込みください。